

～笑顔こぼれる協働のまちを目指して～

平成 22 年度 町の当初予算

施政方針（予算編成方針）要旨

現下の経済動向を見ますと、景気は、持ち直してきていますが、高い失業率や下落傾向にある物価水準など依然として国民生活を取り巻く情勢は厳しく、雇用環境の一層の悪化や円高、デフレ、財政悪化に伴う長期金利の上昇などの懸念材料が存在し、先行きは予断を許さない状況にあります。

そのような中、住民との協働による「自助」、「共助」、「公助」をまちづくりの基本方針として、「第8次南木曾町長期振興計画」並びに新たに策定いたしました「第2次自立推進計画」を行政運営の指針といたしまして、今日の厳しい社会経済情勢の下にあっても安心安全な地域社会の構築の上に立って、個性豊かで魅力あふれる地域社会、活力ある地域社会を目指し、「まちづくりの主役は町民である」ということを基本に据えて、町民の皆さんの参画と協働による「協働で笑顔こぼれるまちづくり」に全力で取り組んでまいります。

財政運営につきましては、厳しい社会経済情勢の影響を受け、町民税の減収が見込まれるなど厳しい財政状況下ではあり

ますが、国のたび重なる緊急経済対策のための補正予算により実施計画事業も大幅に前倒しでき、財源も国の補助金によって実施できたこともあり、町の財政も以前の見通しより改善がされてきました。

実質公債費比率も、年々数値が改善されてきており、平成22年度では18・0%程度と推測されます。

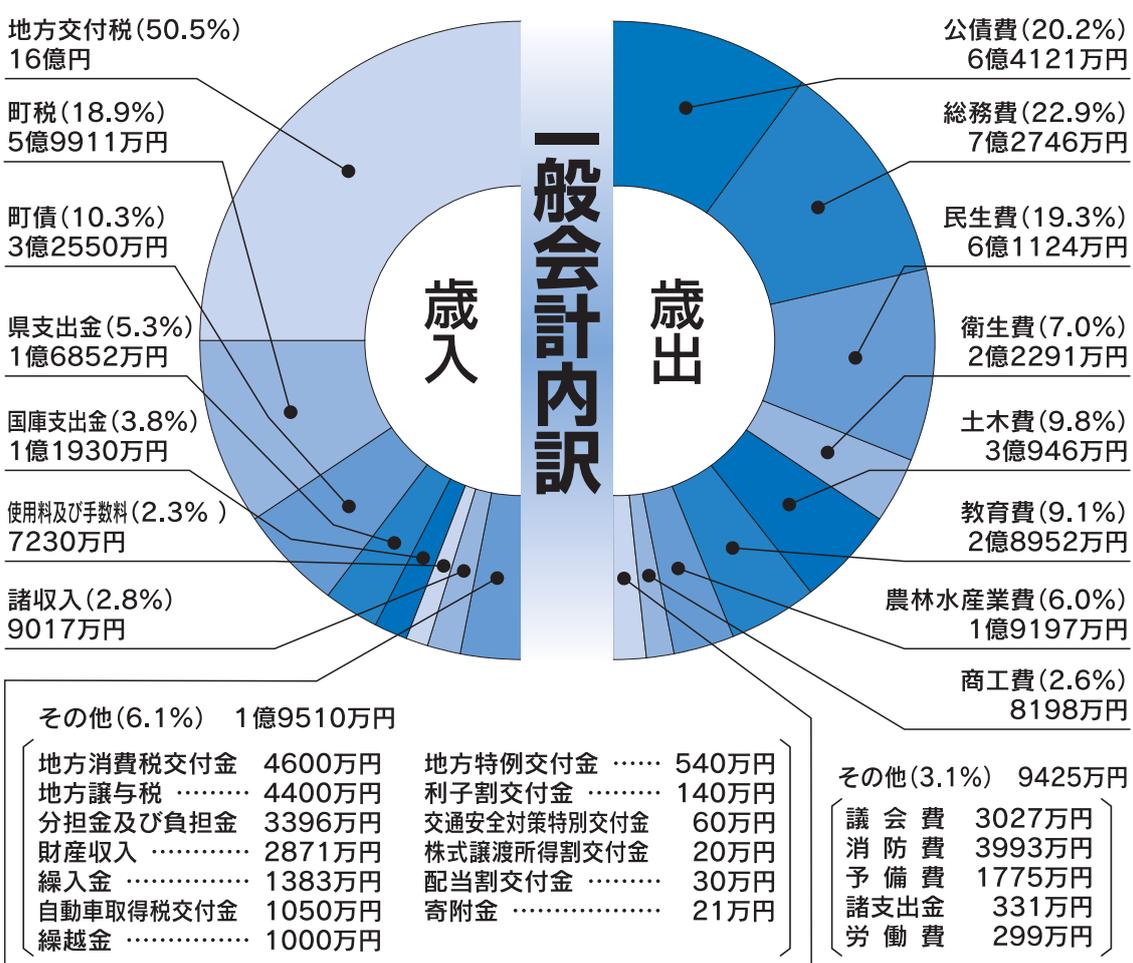
しかし、現在の流動的な国の経済財政状況下ではいつどんな事態が生ずるかは予断が許されない状況であることから、引き続き自立推進計画に基づき、行政改革を推進するとともに、減債基金への積み立てを行うなどして健全な財政運営に努めてまいります。

平成22年度予算編成につきましては、町の各種主要計画を予算編成の指針といたしまして、実施計画に基づき通年予算として編成を行いました。

「最小の経費で最大の効果」を基本とした簡素で効率的な町政運営に努めてまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



一般会計予算総額 31億7000万円



特別会計予算総額 10億5776万円

会計区分	予算額	増減率(%)
南木曾町国民健康保険特別会計	4億7792万円	△ 1.3
簡易水道事業特別会計	2億7万円	△ 7.4
南木曾町営妻籠宿有料駐車場特別会計	5339万円	5.3
南木曾町老人保健特別会計	18万円	△ 87.1
南木曾町下水道事業特別会計	6825万円	△ 16.5
南木曾町農業集落排水事業特別会計	6883万円	△ 8.5
南木曾町浄化槽市町村整備推進事業特別会計	1億1449万円	5.2
南木曾町後期高齢者医療特別会計	7463万円	4.1
合計	10億5776万円	△ 2.9

町税の内訳

税目	予算額	構成比
固定資産税	3億9110万円	65.3
町民税	1億8090万円	30.2
軽自動車税	1051万円	1.8
町たばこ税	990万円	1.6
入湯税	670万円	1.1
合計	5億9911万円	100.0



一般会計の主な事業

総務費

新交通システム経費	5588万円
木曾広域連合負担金	2億6851万円
参議院議員・県知事選挙経費	891万円
町制50周年記念事業経費	1229万円
減債基金積立	1000万円

民生費

社会福祉協議会運営費補助金	1280万円
老人福祉施設入所措置費	2341万円
重度心身障害者医療費	1560万円
障害者自立支援給付事業	8207万円
乳幼児・児童医療費	900万円
子育て支援事業	283万円
児童手当・子ども手当	6383万円
保育所運営費	4222万円
子育て基金積立	1000万円

衛生費

予防接種事業	691万円
母子健診委託等経費	556万円
ポイ捨て監視事業	324万円

農林水産業費

中山間地域直接支払制度交付金	3401万円
町有林造成事業	400万円
林道田の沢線改良事業	1050万円
有害鳥獣対策事業	335万円

商工費

小規模指導事業補助金	450万円
景観支障木伐採事業	511万円

土木費

町道維持補修事業 (島の平線・岩倉線・大原線舗装)	3846万円
道路新設改良事業	1億2346万円
川向団地除却工事	600万円
上仲団地水洗化事業	621万円

消防費

消防団運営経費	3336万円
---------	--------

教育費

南木曾小学校改築事業(設計監理)	450万円
妻籠宿重伝建保存事業	2002万円

.....

今年度の一般会計は、31億7000万円、21年度の当初予算と比較して10.0%の減となりました。主な要因として、平成22年度で計画していた事業の一部を平成21年度補正予算に前倒しして計上したことによるものです。

近年の厳しい社会情勢を反映して町税を250万円減額しましたが、国が地方財政への支援対策として、地方交付税の増額が盛り込まれたことから5000万円を増額しました。

また、計画事業については補助事業・継続事業等の緊急性の高い事業を当初予算に計上し、単独予算については補正予算で対応することになりました。

主な事業は、道路基盤整備では、町道東町下線開設、町道島の平下線開設を中心に計上しました。通信運輸では、新交通システム経費を計上しました。教育文化では、小学校運営経費、社会教育関係経費、妻籠宿保存工事等を計上しました。南木曾小学校第二期工事は21年度事業に繰上げ、22年度に繰り越して実施します。生活環境関係では、浄化槽市町村整備推進事業、環境対策経費、町営住宅管理経費等を計上しました。

保健福祉関係では、各種検診費用、各種医療費、高齢者・児童・障害者福祉対策費等を計上しました。

産業振興面では、企業・観光振興対策事業、農業基盤整備や中山間地域直接支払制度等農業振興対策、林業振興対策事業等を計上しました。

今年度南木曾町は平成23年1月1日をもって町制50周年を迎えます。町主催の記念式典やNHKのど自慢大会等の記念事業経費を計上しました。

第2次自立推進計画の審議委員会から提言を受け、当初見込んだ固定資産税率の据え置き分を減債基金及び子育て基金に積み立てます。

次に特別会計につきましては、国民健康保険等事業会計、簡易水道等企業会計合わせて8会計で10億5776万円を計上しました。(前年比△2.9%)